

貸借対照表及び損益計算書の注記

重要な会計方針

1. たな卸資産の評価基準及び評価方法
仕掛品 …………… 個別法による原価法
2. 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産 …………… 定率法
無形固定資産 …………… 定額法
長期前払費用 …………… 定額法
3. 引当金の計上基準
貸倒引当金
売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
4. リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
5. 消費税等の処理方法 …………… 税抜方式

貸借対照表関係

1. 支配株主に対する短期金銭債権 4,069,034千円
2. 支配株主に対する短期金銭債務 22,131千円
3. 有形固定資産の減価償却累計額 55,148千円
4. 重要なリース資産

貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している重要な固定資産として、営業用車両、情報処理関連機器及びその他事務機器があります。

損益計算書関係

1. 支配株主との売上高 126,375千円
2. 支配株主からの購入 54,825千円
3. 支配株主との営業取引以外の取引高 985千円
4. 1株当たり当期純利益 1,921.29円

記載金額は、表示数値未満の端数を切り捨てて表示しております。